

第 1 回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会

| | |
|-------|---|
| 会 議 名 | 第 1 回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会 |
| 日 時 | 平成 31 年 4 月 26 日（金）午前 9 時 57 分～11 時 42 分 |
| 場 所 | 杉並第二小学校 1 階 第二音楽室 |
| 出 席 者 | 懇談会委員 18 名（欠席 3 名） |
| 傍 聴 者 | 2 名 |
| 次 第 | 1 開会 2 教育委員会事務局学校整備担当部長挨拶 3 出席者紹介 (1) 委員自己紹介 (2) 事務局及び関係課紹介 4 進行役選任 5 杉並第二小学校の特色について 6 杉並第二小学校の改築について 7 意見交換 8 事務局からの連絡事項 9 閉会 |
| 資 料 | 資料 1 杉並第二小学校校舎改築検討懇談会運営要綱 資料 2 杉並第二小学校校舎改築検討懇談会 委員名簿・事務局名簿 資料 3 杉並第二小学校の改築について 参考資料 1 杉並第二小学校 学校要覧（平成 31 年度） 参考資料 2 杉並第二小学校 施設の配置図・平面図 参考資料 3 桃井第二小学校校舎改築検討懇談会ニュース |

| | |
|----------|--|
| 学校整備課長 | <p>お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから、杉並第二小学校校舎改築検討懇談会を開催させていただきます。</p> <p>開会に先立ちまして、中村学校整備担当部長よりひとことご挨拶を申し上げます。</p> |
| 学校整備担当部長 | <p>皆さん、おはようございます。学校整備担当部長の中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、お足元の悪い中、また、大変お忙しい中、お越しいいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>さて、杉二小の改築検討懇談会がスタートいたします。このところ、杉並</p> |

区教育委員会も改築が目白押しでございまして、恐らくこの検討会でも、日を改めてご覧いただくことになると思いますが、桃井第二小学校、大変すばらしい学校です。この4月に、オープンしまして、子どもたちが新しい学校で今、学んでいるところでございます。

また、今、改築中の学校では、高円寺の高円寺学園、これは小中一貫で建てる学校ですが、ことし7月にオープンということで、こちらも今、鋭意進めているところでございます。

また、検討が進んでいるところで言いますと、富士見ヶ丘の小学校・中学校、こちらのほうも建て替えということで今、検討を進めているところです。

それに加えて、この杉並第二小学校がこれから検討が始まっていきます。さらには、これももう発表されていますが、中瀬中学校も改築を進めていくということで、本当に改築が目白押しということになってございます。

区ではそれぞれ検討懇談会をつくって、地域の皆さんからさまざまなご意見をいただいた上で、こういう学校にしようというのを区が決めていきます。それに当たって皆さんのご意見をいただく機会として、この懇談会を設けているわけでございます。

杉二小は、明治17年に成田尋常小学校という形で開校しました。大正14年に今の杉並第二小学校に改名された。

昭和36年にこの現、新しいこの鉄筋校舎の一番古いところがあった。平成の時代に一部改修を行ったり、直近ではプール棟のところの学童クラブについては、3年前ですか、少し手を加えたということもありまして、まとめると、明治、大正、昭和、そして平成という形で、まさに歴史を通じて時間の経過とともに、本当に歴史にある学校なのだなという思いがあります。

いよいよ建て替えが次の令和の元号。新しい学校ができるのも令和の時代ということになるわけでございます。

そういった中で、これから検討を進めていくわけですが、特に皆さんと一緒に共有してやっていきたい点が2つあります。1つは、令和の時代にふさわしい、令和の子どもたちの笑い声が絶えない立派な学校を皆さんと一緒につくっていききたい。いろいろなイメージや思いや発想があると思いますが、そういったお声をぜひたくさんお聞かせいただきたいということが1つ。

それから、もう1つは、区立学校は、地域における最大の公共施設です。そうでしょう。この辺こんなに大きい公共施設はないですね。ですから、地域の皆さんにもご利用いただけるような施設、あるいは、万が一、地震が来たときに避難所としての十分な機能も兼ね備えた施設にしていかなければいけません。そういったことも含めて、しっかり皆さんと夢を共有したい。これがまず1点目です。

2つ目に共有したい点もあります。これはさまざまな課題があるということなのでですね。先ほども申し上げたように、杉並区は今後、何年間にもわたって学校を、少なくとも1年に2校ずつ改築の計画を立てなければいけない。そう

| | |
|--------|---|
| | <p>すると財政、お金もかかりますし、時間もかかるということも含めて考えれば、さまざまな制約条件があります。こういったこともぜひ皆さんと一緒に共有をして、話を進めてまいりたいと思っているところでございます。</p> <p>未来につながる仕事を皆さんと一緒にできることを私も大変うれしく思っています。ぜひいい学校をつくってまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>私からは以上でございます。</p> |
| 学校整備課長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>改めまして、私は教育委員会事務局の学校整備課長の渡邊と申します。これから長い期間、皆さん、よろしくどうぞお願いをいたします。</p> <p>本来ですと、司会を選任させていただくのですが、そこが決まるまでは私のほうでこの会を進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、皆様にお配りしております資料の確認から先にさせていただきたいと思えます。</p> <p style="text-align: center;">(配布資料の確認)</p> <p>第1回ということでございますので、初めての方もいらっしゃると思います。それぞれ、皆様お1人ずつから、所属の団体とお名前だけで結構ですので、順に自己紹介という形でお願いいたします。</p> |
| | (委員自己紹介) |
| 学校整備課長 | 引き続きまして、事務局職員でございます。 |
| | (事務局自己紹介) |
| 学校整備課長 | <p>あとは関係の職員。部門がいろいろございますが、本日、関係者ということで出席させていただきます。今後、テーマに応じて、参考として出席することがございますので、皆さん、よろしく願いします。</p> <p>順番にお名前だけ、お願いします。</p> |
| | (関係課自己紹介) |
| 学校整備課長 | <p>以上が関係課ということで、学校だけではなくて学童クラブも併設しております。また、すぐ川のほうの一段下がったところには防災倉庫、ご存じだと思いますが、そこもあるということで、関係の所管等々が入っておりますので、これからよろしく願いをいたします。</p> <p>それでは、これから議事の円滑な司会進行を行う役として、どなたかに進行役をお願いしたいというのがございますが、実はほかの学校でも懇談会をいろいろやっておりますが、校長先生にこの役はお願いしている例が多くございますので、もし差し支えなければ今回も杉並第二小学校の佐野先生にやっていただければと思いますが、皆さん、いかがでございましょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、杉並第二小学校の佐野校長先生に進行役ということで、司会席のほうに移っていただいて、よろしく願いしたいと思えます。改めて拍手をお願いいたします。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>(拍手)</p> <p>あと、司会進行のサポート役ということで、副司会といいますか、それを選任していただくのですが、それは司会の佐野校長先生のほうから、どなたかご指名をということで、よろしく願いいたします。</p> |
| 進行役 | <p>それでは、ご指名を受けましたので、まずはご挨拶をさせていただきたいと思います。本校校長の佐野と申します。</p> <p>私は平成19年に杉並区に参りまして、和泉小学校で5年間、副校長をやっておりました。そして、建て替えにもかかわり、その後、荻窪小学校、エコスクールの学校に4年間校長としておりました。そして、本校杉並第二小学校に異動になりまして、ことし3年目を迎えております。</p> <p>改築に関しても、いろいろなことを経験しながら、ここに立ってられるということ、本当にうれしく思っております。先ほどお話があったように、夢の共有と課題の共有をやりながら、令和の未来を拓く杉並二小を一緒につくってまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、会の進行を務めていただく副進行役のほうは、校舎改築ということですので、建築の専門家である桑田先生をお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>(拍手)</p> |
| 学校整備課長 | <p>ご指名がありましたので、席のほうを移っていただいて、一言だけ、桑田先生のほうからもご挨拶をお願いしたいと思います。</p> |
| 副進行役 | <p>皆様、改めておはようございます。芝浦工大で建築学科におります。私は都市計画やまちづくりを専門としているのですが、こういった小学校の改築、今、非常にいろいろなところで、杉並区だけではなくほかのところも含めて、非常に新しい考え方や地域との連携のいろいろないい事例も多くなっていますので、ぜひこの杉並第二小学校でも長く愛される学校づくりをお手伝いできればと思いますので、どうぞよろしく願いします。</p> <p>(拍手)</p> |
| 学校整備課長 | <p>それでは、ここからは佐野委員のほうに司会のほうをバトンタッチいたしますので、よろしく願い申し上げます。</p> |
| 進行役 | <p>それでは、次第に沿って進行してまいります。</p> <p>まず、次第の5番、杉並第二小学校の特色などについて、本校の副校長である小瀧委員からお話をさせていただきたいと思っております。20分ぐらいということでお願いします。</p> |
| 委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>副校長の小瀧と申します。よろしく願いします。</p> <p>お手元に本校の学校要覧があるかと思えます。この1枚目に多く書かれています。</p> <p>先ほどもご紹介がありましており、本校は創立135周年ということになります。今、みんなで考えているところ、校長先生を中心に向かっているところ</p> |

が「皆で創り 皆が誇る 未来志向」、まさに令和の時代に合った学校づくりをしていきたいと願っております。

教育内容についても改築への期待が大きくなっております。子どもたちの学習の中でも、総合学習であるとかそういったものの中で、改築にも合わせて自分の未来をデザインする、学校の未来をデザインする、そんなイメージで授業の単元を組んで、これから1年やっていこうというところで担任も話し合っているところでございます。

この杉並第二小学校は135年もあるという歴史あるところです。また、ある調査によると、皆が住みたい地域ナンバーワンになっている地域なのですね。某テレビでは、本校の学区が幾つも紹介されて、ここが一番の南阿佐ヶ谷の地域ですということをおっしゃっていただきました。

そんなこともありましてか、児童数がとにかく増えています。去年50人ぐらい、ことしで25人ぐらいと、私たちが来て2年ちょっとなのですが、その間に100人近くふえているという状況で、現在のところ、582名という形で進んでおります。学級数は19学級。それに杉二教室という特別支援教室を含めて運営しております。職員の数や、こちらはいろいろ書いてありますが、後でお読みください。

学校の特色としては、こうやって児童が増えているものですから、なかなか教室が足りなくなってきたのも現状でございます。一時期、学童さんであるとか、はっぴいタイムという居場所事業の教室を提供している関係もありまして、現在のところ、学年で集まる部屋が体育館しかありません。何とか詰めてこの部屋か、はっぴいタイムの拠点になっている視聴覚室が唯一でございます。それももうキツキツに座っての集合場所ということで、なかなかうれしい悲鳴を上げているところではございます。

そういった意味もありまして、たくさん子どもたちが生活している場所ですので、安全に気をつけて運営しておりますけれども、この改築に当たっても、先ほども出ましたけれども、避難拠点の意味合いもありますが、日ごろ学校の子どもたちが生活する上でも安全に気をつけた施設になってほしいなと願っております。

学校の特色としては、同窓会があります。135周年ということで、私もこの学校に来て郷土資料室というところに案内していただいたときにはもう歴々とした、今までの様子を見させてもらいました。100周年からは同窓会のほうから同窓会文庫ということで毎年多額の寄附と本を贈呈させていただいて、そういうお部屋もあって子どもたちも読書にいそしんでいるところがあります。そういった意味もありまして、地域でつくる学校であるなと思っております。

地域といいますと、町会長を含めて、全部バックアップしていただいております。夏休みには花火大会とか、2学期には防災訓練という形で本校を使って、子どもたち、保護者、また地域の皆さんを巻き込んで防災にも当たっておりますし、子どもたちの育成にも当たっております。そういった関係で、「皆で創

| | |
|--------------|--|
| | <p>り」というこの「皆」は学校だけではなく、地域や保護者や同窓会であったり、多くの方々に支えられてつくっている学校だということがおわかりいただけるのではないかと考えております。</p> <p>地の利もいいので、ここで防災訓練をやったときにも思いましたけれども、ここにたくさんの人たちが集まってくると、善福寺川が流れていて、善福寺川緑地があり、そしてそこには防災のテントが張られる建物があったり、ベンチがあったり、いろいろなところでうちの学校の周りというのは非常に大事な要衝でもあるなと思っております。</p> <p>そのほか、本校では今いらっしゃっています学校運営協議会のメンバーであるとか支援本部のメンバーであるとか、去年になります、保護者の中でも学校を支えるボランティアスタッフを募ろうということで、杉並第二小学校のスクールサポータースタッフ、エスフォーと呼んでいるのですが、そういう方々と一緒に学校を運営しているところでございます。本当にみんなで作る学校ということで、どの方々にも住みよい、また暮らしよい、学びやすい、そういう学校をつくっていききたいなと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>最後になります、情報として、今こちらの見えている善福寺川の緑地のほうに出口がないのですね。お弁当給食を持ってそちらで全校遊びやなんかをしていたりするのですが、そのときにも違うところかぐるっと回ってくるのですね。こちらからはあまり道がないのですが、そちらから来る子どもたちが100名程度で、正面の鎌倉街道から来るお子さんたちが400名程度ということで、あそこがまた「く」の字のように曲がっていて、バス通りにもなっています。それが、バスが直前にならないと見えないのですね。すれ違いもあります、トラックも来ます。そうした中で、非常に危ないということもあって、シルバーさんであるとか警備員さんが常時張ってくれて、安全確保しているのですが、そういった状況もあります。そういう安全という意味であっても、これから先、検討する余地はあるかなと思っておりますので、どうぞ皆さん、よろしくお願ひしたいと思ひます。そんなところでよろしいでしょうか、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> |
| 進行役 | <p>ありがとうございました。</p> <p>何かご質問等がありますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、次の議事に移ってまいります。次第の6番、杉並第二小学校の改築について、事務局から資料の説明をお願いいたします。</p> |
| 教育施設計画推進担当係長 | <p>学校整備課の白石と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>書類のほうは資料3の「杉並第二小学校の改築について」というのと、参考資料のA3の写真がついた、こちらと合わせて説明したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>資料3の下の段「改築に至る経緯」ということで、まず杉並区の学校施設の状況についてご説明させていただきます。</p> |

1つ目、区立の小中学校のうち築50年以上の建物を有する学校は約半数になっているということ。2つ目が、昭和50年代をピークに減少傾向にあった児童数が最近増加傾向ということなのですが、中長期的に見ると人口減少が予測されておりまして、今後の学校改築に当たって、将来の児童数の減少を見据えた柔軟性のある施設づくりが求められているという点。3点目としましては、小学校は学びの場にとどまらず、子どもの安全・安心な放課後等の居場所として学校施設を有効に活用することが求められているということ。4点目として、今後更新時期を迎える学校施設の老朽化に適切に対応するためには施設の長寿命化による有効活用と、単年度ごとの平準化を図った計画的な改築が必要という大きな状況があります。

1枚めくっていただいて「杉並第二小学校の状況」ということで、まず明治17年に開校ということで、昭和35年、北校舎が建設されて、37、40、44年とだんだん増築されてきました。41年に体育館が建設され、昭和53年にプール・教室棟が建設されたということになっております。

今回、そういった背景がありまして、前年度に杉並区の実行計画によって杉並第二小学校の改築事業が計画化されました。今年度、杉二小の懇談会を開催しまして、基本設計を今年度、策定するという流れになっております。

3の「杉並第二小学校等の概要」ということで、児童数・学級数、こちらは学務課からの速報値で、ご覧のとおりになっております。

施設規模としましては、敷地面積は1万781平米ということで、区立の小中学校41校中、上から13番目ではあったのですが、平均が9,300前後でしたので、すごく広いというわけではないということと、また段差等もありそういった敷地的な特徴があります。校舎面積、運動場の面積等はこちらでご覧のとおりでございます。

次に、学童クラブは、プール・教室棟に入っております。参考資料2を見ていただいて、1階のところに学童クラブが入っております。定員は150名で、最大が160名。今、入会児童数が157名という状況です。クラブの育成室と事務室の面積が288.52平米ということになっております。平成21年4月にこちらのプール・教室棟のほうに入って、30年4月に拡張されたということです。

次が成田西災害備蓄倉庫です。この参考資料2の、方角が書いてないのですが上が北で、南東の一番端「備蓄倉庫」とあるところが成田西災害備蓄倉庫で、この「-4200」というのは運動場を0としたときにそれだけ下がっているということで、ほかのプラスのところはそれだけ上がっているということになります。

敷地面積は306.66平米で、建物が90平米です。建設は昭和53年ということで、プール・教室棟と同じ時期ということなんです。

備蓄品としましては、4校の学校備蓄倉庫に収納できない備蓄品を保管しているということと、善福寺川沿いに近いということもありますので、都市型災害用の備蓄品、水害用のものなども保管してございます。

4の「検討における主な視点」ということで、今後、皆様からご意見を伺う

中で、こういった視点があるのではないかというのを、事前にいただいた要望書等も見ながら、こんな視点があるのではないかということでもとめさせていただきます。

1つ目が将来の児童数の変化に柔軟かつ効果的に対応できる施設づくりということです。

2つ目が現在の敷地にある高低差とバリアフリー対応への工夫をどうしたらいいのか、ということです。

3点目として、さらなる防災機能の充実や地域に開かれた学校づくりということで、学校づくりというのはハードの面もそうですし、ソフト面も含めたという意味合いで、ここは「学校づくり」という表記にさせていただきます。

4点目として、コスト面も含む総合的な視点での施設づくりということです。

5点目としまして、杉並区の施設白書に示されました築80年までを目指した長寿命化の考え方に基づく施設の有効活用による改築と全面改築の可能性・有効性についても検討の視点としてあるのではないかということ です。

最後に、改築検討懇談会の中で幅広い意見をお伺いして、保護者の方や学校関係者、地域の方々と合意形成を図りながら検討を進めていきたいということです。

この視点で今回の学校改築の全てを網羅しているとは考えておりませんので、今回の懇談会の場において皆様から積極的にご意見をいただいて、改築の基本的な方針を3回目以降でまとめていきたいと思っていますので、さまざまな意見をいただくと幸いです。

最後、今後の懇談会の開催予定ということで、8回を想定しております。今回は第1回目ということで、2回目は、まずどういった施設の進め方があるのかとか、イメージを膨らませていただくために、施設見学をしていきたいと考えております。

3回目以降から、コンセプトであるとか、そういったことを徐々に話していき、9月ぐらいまでには校舎の配置や平面図の計画などもしていきたいと考えております。

また、5月に今度は基本設計をつくる設計事務所の指名競争入札を行いまして、決まりましたら懇談会に参加し、皆さんの意見をお伺いしながら設計をつくっていき、区で基本設計を策定していきたいと考えております。

第6回あたりで、ある程度平面計画案がまとまったところで、地域の方ですとか保護者向けに説明会を開ければなと思っています。

最後、8回でまとめとなります。

議論のほうの進捗状況によって開催月とか回数は多少前後するかと思いますので、よろしくお願いたします。

最後、6番の「改築想定スケジュール」ということで、まず今年度、基本設計ということと、測量、地盤調査、あとはこちらの地域は埋蔵文化財の埋蔵地隣接地にかかっておりますので、その調査を行うこととなります。32年度から

| | |
|-----|--|
| | <p>は実施設計を行って、改築校の設計の具体化を図っていきます。</p> <p>配置計画等によっては、既存の体育館等の解体などの可能性もございますし、場合によっては仮設校舎等の施設の建設の場合もあると思います。33年度から新校舎等の建設工事に入っていきます。校舎の配置プランですとか、敷地条件、段差があったりとかいろいろあるので、工事期間は前後するかと思います。</p> <p>校舎等の建設が終わりましたら、環境整備工事ということで、校庭の整備を進めます。</p> <p>雑駁ではございますが、私からの説明を終わらせていただきます。</p> |
| 進行役 | <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局のほうから区としての改築における基本的な考え方ですとか、懇談会の予定などについての説明がありました。本事業については、委員の皆様それぞれ、いろいろなイメージをお持ちではないかなと思っています。本日は第1回目ですので、委員の皆様全員からご発言をいただきたいと思っています。</p> <p>改築についてのお考え、あるいは感想でも構いませんし、今の資料説明に対する質問でも構いませんので、お1人2分程度でお話しいただければと思っています。</p> <p>ただ、校舎改築検討懇談会ですので、子どもたちが過ごしていく学校の改築について、また一体整備をする学童クラブに限定させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>一時的にいいのでなくても、私も50年たっても非常に印象が深いものですから、そういう思い入れが深い建物がいいなというのが1点。</p> <p>もう1つは、地元としてお願いなのですが、先ほどもお話がございましたように、防災の最大の拠点になるところでございますので、しっかりとした機能を持った、またしっかりとしたつくりのある、そういう建物にさせていただきたいというのが、私の地元の町会としての希望といたしますか、まだ漠然としているのですが、そんなことを考えております。</p> |
| 委員 | <p>今の時点で改築云々についての意見は、私は持ち合わせておりません。</p> <p>一言だけ校長先生にお聞きしたいのは、この下に杉二の歴史を示す博物館みたいなのがございましたよね。あれは今でもあるのですか。</p> |
| 進行役 | <p>今は、居場所事業に伴って、地下1階の昇降口のところに、きれいに形を変えてとってあります。</p> |
| 委員 | <p>そうですか。前に見て、非常に印象深くて、改築後もああいうのがあったらいいなという意見を言いたかったのです。</p> |
| 委員 | <p>53年に校章を公費でつくりました。子どもたちに1つ1つ押して、叩いてもらった、でこぼこになっているのです、あれ、全部。</p> |
| 進行役 | <p>さくら門のところにありますので、帰りにでもぜひご覧ください。ありがとうございました。</p> |
| 委員 | <p>実は去年の8月にこの話がニュースが入ってきまして、それからどうしようかと言って、校長、副校長を交えてCSの運営委員の皆さんと約7カ月、毎月</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>開いているCSの会議で検討していきました。ことし3月に教育委員会に向けて要望書のようなものを提出させていただいたのですが、12、3いらっしゃる委員の方の意見をまとめた要望書だと私は思っています。細かなところを突き詰めたらきりがないので、その要望書に沿って工事を進めていただければこんなにうれしいことはありません。</p> |
| 委員 | <p>この会議で私の役目としましては、先ほど言いましたように実際使われる方、保護者の方、先生、それから生徒もちろんですが、その人たちのために、子どもたちからも素朴な質問、要望が出ると思います。</p> <p>来年度、もしくはことしの暮れからもう設計者の方も選定されると思いますが、我々、利用する側と設計する側との間で、非常に初歩的な質問があっても必ずちゃんと答えてもらいたいと思います。なぜならば、お互いに信頼感がある。これが一番重要です。資本主義社会で、需要と供給でいろいろなものが決まりますが、やはり信頼関係がどうあるかということで、そこだけを見守っていきたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>今回、改築ということで、建物に関しましては私は素人です。専門の先生方、学識経験者の方もいらっしゃいますので、建物の構造については私はお任せするしかないと思っているのですが、支援本部の立場からすると、その学校が子どもたちにとって有意義なものなのかどうか、安全・安心で過ごせるようなものなのか、そういった観点。あるいは予算もあります。予算とどの程度折り合いがついて、結局、予算はこれですからこれだけしかできませんよということだけでなく、その前に私どもも、会長がおっしゃったように7カ月、去年の7月から時間をかけて相当なものを私たちは話し合ってきましたので、なるべく拾い上げるような形でもって意をくんでいただいて、この懇談会の中ですばらしい学校に向けて実現をしていきたいと思っております。</p> |
| 委員 | <p>奇をてらったような学校というのではなくて、本当に子どもたちが必要な、学校生活にとって、教育にとって必要な施設がある学校が一番理想だと思いますので、予算もあると思いますが、そのところを最大限に考えていただいて、いい杉二小学校をつくっていただきたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>先ほどもご説明したとおり、本当に地域で、また保護者が、またいろいろな関係の方々が手を取り合っている学校だと思っています。とても素敵な学校だと思っています。ですから、それに見合う形で、子どもたちを中心にしながら、またそこにかかわる人たちが住みやすい、また安全で楽しく集えるような、足が運ぶような、そういう場所にさせていただけたらうれしいなと思っています。</p> <p>何はともあれ、主役は子どもですから、まずは子どもが十分に学習ができて、楽しめて、「この学校大好き」と思えるような場所にさせてもらえたらありがたいなと思います。よろしくお願いします。</p> |
| 委員 | <p>こんにちは。私のほうから資料があるので、今、配付させていただきます。</p> <p>この資料というのは、何を配っているかといいますと、私の所属する会と、</p> |

委員と一緒に呼びかけてつくったのですが、この会と、私もいろいろこの地域の川のこと、善福寺川とか、環境団体とも一緒に活動でかかわっているので、その人たちと一緒に集まって、そこの意見を聞いてみたのですね。その結果として、この設計図とちょっとした意見書を書かせていただきました。

2月に学校整備担当部長と学校整備課長にお話しした機会がありまして、そのときに、ぜひこういうふうに地元の方のいろいろな意見を聞かせてくださいと言っていたので、頑張ってみました。ちょっと大変ですが、よろしくをお願いします。

このビジョンは何かといいますと、やはり世界一の学校を目指そうと私は思っています。ちょっと高いハードルかもしれませんが、可能だと思うのです。これだけすばらしいメンバーで、教育委員会もこれだけ熱心に頑張っているのは、実は私もびっくりしています。アメリカではこんなこと、特にパブリックな学校ではないと思います。ヨーロッパだと少しそういう事例もあるかもしれませんが、こういうことは本当に、私もちょっとびっくりしていて、これがいい機会だと思っていて、できたら本当に世界一の何かの学校をつくりたいなと思っていまして、ひとつ何かといいますと、みんなでデザインをする「地域の学校」になればいいかなと思っています。

そこで、行政と子どもたちが一緒にできればいいなと思っています。教育施設計画推進担当係長が先ほど、皆さんの意見を聞いてこの懇談会をやりましょうという話をされましたけれども、そこに保護者と学校関係者と書いていますが、そこに抜けていたなと思ったのが子どもたちですね。子どもたちにいろいろかかわってほしいと思っています。

もう1つ、幅広く意見を聞くということ、私もとてもうれしくて、本当にありがたいと思っているのですが、ただ意見を集めるだけではなくて、皆さんと一緒に勉強できたらいいなとも思っています。それはもちろん子どももそうなのですが、大人も建築の専門家が何人もいますので、建築のことを勉強していただくとか、この地域のことも歴史のこととかも含めて勉強させていただくことができればいいかなと思っています。勉強した上で、ちゃんとした意見がそこで出せると思うので、両方ともできたらお願いしたいと思います。

今回、私の配ったものは2つありまして、1つは文章がA4サイズで書いてあるものなのですが、これが提案書の説明です。これは細かいことは話すことができないのですが、またちょっと話をします。これと大きいほう、A3サイズのほうは4枚あるのですが、これは会のメンバーで建築の方がいますので、その方に書いてもらいました。話し合っただけのことではなく、話を進めていきました。最初の1枚目の昔の写真も、実は先ほどお話がありました、地下にある郷土資料室みたいなところからとった写真です。

文章のほうに話を戻しますと、1つは先ほど、これも教育施設計画推進担当係長の資料に入っていましたが、80年ということでびっくりして、私は50年と、ここに書いてしまったのですが、2番なのですが、今でなく、50年後の日本を

想像した学校づくりがいいなと思ったのですが、これは訂正して、80年と書かないといけないということなのです。ということで、いろいろとそれも皆さんと勉強したいと思います。教育委員会のほうで80年後の日本というのはどういう教育ビジョンを考えているかということ、私も専門家ではないので知らないのですが、そのことも共有していただけたらと思います。

もう1つ、私は川のことの活動をしているので、やはり川とこの流域全体のコミュニティと一緒に考えた学校づくりができたらいいなと思います。もちろん建築は改築なので、この敷地内だけと思いがちですが、実はこのすぐ近くに川があって、この川というのは最終的には今いろいろと汚いという問題になっている東京湾まで水が流れます。ですから、そこ全体の流域を考えて、この学校づくりにかかわっていけたら、とてもおもしろいなと思うのですね。

あとはオリンピックのことですが、次の話は木造でできたらいいなと会の中では今、話しているのですね。オリンピックスタジアムも今、木造で考えていますし、国のほうから補助金が出るらしいので、資金集めも含めて相談することができたらいいなと思います。ただ単に行政に頼るのではなくて、積極的にこの懇談会の中でも、「こういう補助金がありますよ」とか「こういうリソースがありますから」とか、そういうことも話すことができたらいいなと思っています。

設計図の内容で、1つお話したかったのが、防災の拠点というキーワードを皆さんよくお話されているのですが、地震のことというのが多いのですが、水害はやはりこちらのほうではとても気になることです。それも温暖化によってふえる可能性が高いです。それに対していろいろ国のほうも都のほうも動いていると思います。

そこで、見込みというか、将来像も考えたらいいと思うのですが、今後の行政の仕組みとか行政の規制とかも含めて、ちょっと先になるかもしれませんが、それに合うような設計ができたらいいなと思っています。

グリーンインフラのこともこの会で話をさせていただくことができたらとてもありがたいです。

夏に私も都のほうの都市計画の方をニューヨークに案内して、そのグリーンインフラの事例とかを案内して、そういうことも都のほうでは真剣に考えているらしくて、もちろん国土交通省のほうでもそういうことを今、検討しています。なので、国土交通省もそうだし、環境省もそうなのですが、そういうことをぜひやってほしいということがあると思いますので、波に乗って、この学校をととてもすばらしい学校にしたいと思います。

あと、1つ事例としておもしろいなと思ったのが、これも会で出た話なのですが、文書の2ページ目のほうで、「令和万葉ガーデン」というのをつくったらいいなと思うのですね。令和という新しい年号になるので、こちらのほうに万葉集に出ている植栽を植えるようなガーデンができたらいいなと思うのです。私がそういう環境活動をしている中で在来種のガーデンということなのです。

| | |
|----|---|
| | <p>が、万葉集の勉強ということにも使えますし、万葉ガーデンという新しい建物ができるといふときにつくるということをできたらいいなと思っています。</p> <p>図のほうの2ページ、3ページ目に割とそういう全体像はあるのですが、万葉ガーデンとしたら、例えば、今私たちの想像している東側の体育館のほうの2階のビオトープみたいなのところに万葉ガーデン、万葉の森か何かができたらいいなと考えています。これはあくまで私たちの勝手な想像なので、規制とか、ある程度建築の方は知っていて、それなりにやったと思うのですが、でも、特に予算のことは全然考えていなくてつくったものなので、あとはいろいろ規制があると思いますので、その辺は勝手ながらつくっています。本当に申しわけないのですが。こういう意見が、会とか地域の環境活動をされている方の意見が反映されていると思いますので、もしよかったらまた次回でもいいので、もうちょっと長く説明していければと思います。</p> |
| 委員 | <p>人間のふえることも減ることもあるでしょうし、いろいろな環境が変わるから、これからの学校建設のこともかなり長期的なビジョンというのをしっかり見た上で、現実的にどうするかという考えでいかないといけないなという思いでございます。</p> |
| 委員 | <p>学校や地域とのかかわりの深い方とか、学識のある方の中で、私は何ができるのかな、何がここで言えるのかなというのは本当に小さいのですが、学校というのは地域とか土地の中ですごく重要な役割というか大事な役割、神社とかお寺ではないですが、例えば災害のときはみんな学校に行こうと思うわけで、すごくそういう大事なスポット、役割だと私は思っています。つまり、人々の守りの場というふうにあるというのが学校なのではないかなと。</p> <p>人々の守りの場であるというところがあると、子どもたちにとってもいい環境にもなるし、周りにとってもいい環境になるし、あと、調和ということが大事だと思うのです。本当に自然をたくさん取り入れた学校というのは、すごく賛成するところで、その辺の自然と人工的なものとのバランスとか、この辺は緑が多いからそういうあたりでの調和とか、その辺は大事かなと個人的には思っています。</p> |
| 委員 | <p>やはり主役は子どもとむしろ先生だと私の中では思っていて、その方が過ごしやすい場所、楽しいなと思える場所をつくっていただきたいというのが一番の思いであります。</p> <p>先ほど、行政の方から、子どもたちには未来、夢、課題の共有という言葉をいただいて、少し安心はしたのですが、やはり保護者としては、子ども主体、先生たちが過ごしやすい場所になるかどうかというのは常に考えて、心配はしているので、できれば説明会というのを私たちのこの場所だけではなく、保護者向けに何度か開いていただくと大変ありがたいなと思います。</p> <p>あとは要望書のほうを提出させていただいていますので、それに近いものを一緒に作り上げていければいいなと思っています。</p> |
| 委員 | <p>ことし3月に桃井第二小学校はおかげさまで落成しまして、まだ落成式はこ</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>れからなのですが、4月から新しい校舎で子どもたちが、本当はここに新しい校舎がまた見学会等のときにお配りできるし、実際に見ていただければと思うのですが、練りに練って、いろいろな方の意見を取り入れてつくりあげてきたという思いが強いところです。</p> <p>今、皆さん方の熱い思いも聞かせていただいたところなので、そしてまた、この杉並第二小学校は第二分区とここを呼んでいるのですが、小学校は6校ありまして、先ほど区内では13番目ぐらいの広さということではありましたが、二分区の中では大きいほうに入っているのですね。いつも6年生の連合運動会はここと西田さんと、交代交代にやらせていただくという思い出深い校庭でして、そのとき見させていただくと、先ほどこの調査の中にもありましたように、なかなかの高低差、そして階段が多いなというイメージが少しあります。そういうこともよさによって変わって行くような発想でうまく考えられるといいかなと思います。</p> <p>また建築期間が、なんといっても丸3年間はやはりいろいろなところで子どもたちも不都合なところも出てくる可能性もあるので、また私たちが卒業して新しいところには入れないなという子どもたちもたくさんいるわけです。でも、そういう子どもたちにとっても、期待や「こんなになるといいな、我が母校」みたいな、そういう盛り上がりがあるといいなと思っております。</p> <p>また、地域の方たちにとっては、本当に学校は大事なところなので、この地域に誇れる校舎ができるといいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>今、皆さんの話を伺っていて、本当にもう既にずいぶんとこの会の準備をされて、設計もアイデアも考えられたりとかも含めて、非常にこの小学校の建て替えについて皆さんが期待を寄せていらっしゃるし、またそれも裏打ちされていて、本当に皆さん、この地域と小学校をすごく愛していらっしゃるというのが本当に伝わってまいりました。</p> <p>私も、むしろ専門家の方もたくさんいらっしゃるということはいくぶんわかりましたし、ぜひ勉強させていただきながらと思っておりました。</p> <p>幾つか、もちろんこの小学校の生徒さんが主役に使っていくということですので、生徒さんの意見を聞くタイミングというのがぜひあったらいいなと思っているのが1つと、周囲と、都市計画ということもあって、最初に小瀧副校長さんが子どもたちが歩くときに交通の問題があるというお話があったかと思えます。先ほどの提案書の中でも、周辺の交通に関して歩道拡大というお話もありました。私も周辺を見るぐらいしかまだわかっていないのですが、確かに安全・安心で、みんなが登校できるようなところも含めて、学校をつくって、その中でまたこの校舎内に入ってからもうすぐ居心地がいい場所になったらいいなと思っております。</p> <p>ですので、またそういった、すごくたくさんのご意見をこれまでも積み上げていらっしゃるというのは非常によくわかりましたので、そういったご意見も</p> |

| | |
|----------|--|
| | <p>ぜひ交えながら、最後はまだ小学校の建て替えて、委員がまとめられた経験もお持ちだということですので、非常に心強いし、すごく楽しみだと思っておりますので、ぜひ皆さん、よろしくお願いいたします。</p> |
| 進行役 | <p>ありがとうございました。委員の皆様から、ひととおりの意見をいただくことができました。</p> <p>もう少し時間がありますので、少し言い足りなかったとか、このところは聞いておきたいとかということがございましたら、どうぞ。</p> |
| 委員 | <p>昨年からかなり時間を割いて、佐野校長先生を中心に意見をまとめてきているのですが、この先、2年後に着工。ですから少なくとも設計が完成して、着工して、めどが立つまで校長先生には残っていただきたいなと思っています。それだけでございます。途中で人がかわってしまうと、また意見が変わってしまうといけませんので。それだけ、可能性があるかどうかだけ、よろしくお願いいたします。</p> |
| 学校整備担当課長 | <p>校長先生、副校長先生の人事に関する権限は私にはありませんもので、どうこう申し上げられないのです。</p> |
| 進行役 | <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにどうでしょうか。</p> |
| 副進行役 | <p>「はっぴいタイム」等の活動を少しご紹介いただければと思うのですが。</p> |
| 委員 | <p>放課後居場所事業ということで、杉並区では取り組んでいるところなのですが、本校は41校中2番目に取り組んでいるところです。外部の団体に委託をしまして、子どもたちが登録をした子どもたちが放課後、安全に見守ってもらえるスタッフをもとにしながら、放課後遊びができるという事業でございます。これは学童クラブとちょっと違って、お預かりということではなくて、いわゆる公園みたいなところ、または公民館みたいなところに遊びに来ている。その職員が見守っているよというぐらいのスタンスでやっておりますので、無料でございます。</p> <p>もちろん、お菓子とかおやつみたいなのは学童クラブと違って出ませんけれども、遊具がそろえてあったり、それを学校の校庭であったり、または体育館であったり、そういったところを使いながら、子どもの見守り事業、居場所事業をしているものでございます。これは毎日やっております。基本的に学校があるときということで、登録制ですけれども、全員が1年生から6年生まで参加できるということになっております。</p> <p>それにはもちろん、会社のスタッフだけではなくて、支援本部であるとか、PTAのエスフォーの皆さんであるとか、そういう方々も手伝って、子どもたちのイベントをやっております。また、その中には、いろいろなクラブがあったりして、ダンスチームがあったり、いろいろなところで活躍しているものもあります。そういうような形で、子どもたちの中には、また保護者の中には根づいている事業でございます。</p> |
| 進行役 | <p>関係課のほうから何か補足説明はありますでしょうか。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>児童青少年課計画調整担当係長</p> | <p>区では現在、放課後等居場所事業を委託事業という形で実施しております。</p> <p>先ほど副校長先生からもお話があったように、和泉学園において最初に実施し、つづいて2校目に杉並第二小学校が実施しました。平成31年4月からは桃井第二小学校と桃井第五小学校においても実施しています。</p> <p>今後も、計画的に実施校を拡大していく予定です。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>進行役</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか、ご意見等。</p> |
| <p>委員</p> | <p>幾つかあるのですが、1つは今回も、ほかの方が興味があったら傍聴させていただくという話がありました。本当にありがとうございます。声をかけてみたのですが、誰も、時間がなくて、平日で難しいということで参加できなかったのですが、そういう方が多いので、もしかして傍聴させていただくかもしれません。</p> <p>それで、次回の施設見学というのも可能なのですか。一緒に参加できますかということをお聞きしたかったのですが。それとともに、設計事務所のほう、まだ決まっていないのでしょうかということをお聞きしたかったのですね。もし決まっていないのであれば、発注する契約書みたいなものがあると思うのですが、そういうものというのも見せていただけるととても参考になるかなと思って、伺いたかったのですね。</p> <p>もう1つなのですが、この埋蔵文化財とか、そういうときに掘り起こすかもしれません。先ほどの「令和万葉ガーデン」の話なのですが、よく土壌の中に埋まっている昔の種をあげて、それをシードバンクというのですが、進化論のダーウィンが研究されていたものなのですが、そういうシードバンクを下から掘って、それで昔の、多分タイムカプセルみたいなものですね。50年前とか100年前の植栽をそこでよみがえらせることが可能なのですね。そういうことができたらいいかなと。</p> <p>それも子どもたちと一緒に、下に掘った土を上を持ち上げて、それで観察するというのがまた、昔のこの地域の植栽、お花とかそういうことがよみがえるというのはすごくロマンがある話なのですが、そういうことを実は私、代々木小学校で今やっているのですね。それと同じようなことをこちらのほうでもできたら楽しいなと思って。それはもう先に計画しないとできないことなので、そういうことも含めて検討させていただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>進行役</p> | <p>幾つか質問に対して、まず回答のほうをいただいてからのほうが。</p> |
| <p>学校整備課長</p> | <p>これは後ほど担当の係長から日にちだとかの案をご紹介します。見学先の学校のほうがこの十何人でもさえ非常に多いというのがるので、申しわけないのですが、今までの懇談会のメンバーの方に限定させていただいています。</p> <p>ただし、多分、桃二小は新しく落成式などが今後もありますけれども、新し</p> |

| | |
|----------|--|
| | <p>い学校なので、機会があればぜひそういったものを活用して見ていただく分には構わないのですが、この見学会としては申しわけありません。</p> <p>その前に、傍聴の話があったので、先ほど私のほうから言わなければいけなかったのですが、今、渡辺先生のほうからお話いただいたように、この会は傍聴が可能でございます。今回も何人か傍聴にお見えになっていますし、今後もいろいろな方が見ていただいて構わない会議になっているので、あらかじめご承知いただきたい。また、あとで会議録もつける関係があるので、皆さんの発言などは録音させていただきます。会議録をつくるのですが、当然、名前などは伏せて、匿名といいますか、そういった形で、要約という形で会議録もつくりますので、あらかじめご了承くださいければと思います。</p> <p>それと、設計事務所のお話がありました。予定では、これから設計事務所を決めます。設計事務所を決めるやり方は幾つかあって、富士見ヶ丘というところはプロポーザルという方式で、設計会社に手を挙げてもらって、こういう取り組みで設計してきますよと業者さんに言っていただいて、ヒヤリングをして決めるやり方と、競争入札で決めるやり方があります。富士見ヶ丘は規模的に2つの学校と、あとは公園だとかを組み入れてやる、規模が非常に大きなところだったので、プロポーザルという手法を使ったのですが、この杉並第二小学校については単独校の改築だということがあるので、指名競争入札でやる予定になっています。それに当たっては、今、業者のほうにお声がけをして5月中旬ぐらいに設計会社が決まるとありますが、開札が終われば開示はできますが、あらかじめというのは申しわけありませんが、お示しはできないような状況になっているところでございます。</p> |
| 委員 | この会で、文章とかというのは議論はできない、しないということですか。 |
| 営繕課長 | 設計事務所を決める入札の文章ということですか。 |
| 委員 | そうです。 |
| 施設整備担当課長 | 委託を設計事務所に行っていくのですが、やはり入札の前になりますと、入札の情報になってしまいますので、なかなか開示できません。5月中旬あるいは後半ぐらいに業者が決まりますので、そうしたらお見せすることは可能になると思います。 |
| 委員 | わかりました。 |
| 委員 | 入札の募集のときに現地の学校から私たちがまとめた要望書を参考資料として添付していただくことはできないのでしょうか。 |
| 学校整備課長 | その辺については、指名競争入札で業者が連休明けに決まります。機会が間に合えば、この施設見学会も一緒に来てもらって、その後は必ずこの懇談会にもオブザーバー出席をしていただいて、皆さんの議論なりを聞きながら基本設計を同時進行で決めていくという場で来てもらいますので、皆さんのご意見なり要望はダイレクトに聞く立場。場合によってはやりとりにも参加してもらって、「こういうふうにいるのだけれども、では設計会社さん、どう思いますか」というやりとりの場を設けますので、あらかじめ示すということはしま |

| | |
|---------------|--|
| | <p>せんが、決まった後はきちんとこの懇談会にも同席、オブザーバー出席してもらってやるというスタイルをとりますので、よろしくお願いします。</p> |
| <p>委員</p> | <p>先ほど言いかけたのですが、まさしくその話題が今、出ました。実は私は運営委員会でどうしようかと個人的に出したものの、これも出しているとおっしゃったのですが、実はこここの部分なのですが、何を言おうとしているかと言いますと、今言われました設計者とユーザーです。設計者と区ではありません。区ではなくて、区はあくまでもオーナーというかお金を出すということ。</p> <p>要は設計者とユーザーとの間がこういう四角四面の会議体としまして、声の大きい人の意見が通るとか、素朴な議論ですね。要望。これを、例えば建築基準法はこうだと。都市計画法はこういうことですからだめですと。それは考慮しましょうと。これをこういう会議体ではなくて、ネットですよ。要するに共通黒板みたいなもの、あちこちの団体でもやっていますように、共通のネットの意見交換。私は33年間、ゼネコンでずっと勤めて、いろいろなトラブルを見てきましたが、一番重要なのはお互いに信頼感が出るというのは、疑問をプロの方が「だったらこうしましょう」「それは法規上難しいです」とかいうことを丁寧に教えてもらう。全部設計者に任せなさいというのだと、必ずトラブルが来ます。言った、言わない。そのとき、安かった。オーナーのほうがあいのをやってくれと言われたからしょうがないと居直ります。こういうことで、お互いに不信感が出る。いっぱい見てきました。</p> <p>今の情勢ですから、ネットで誰からでも質問する。誹謗中傷はだめです。これを明示する。もしくは整理するのであればユーザー側の誰か、校長先生だったら校長先生ということ。それから区役所のほうで交通整理して、ネットに、誹謗中傷はもうやめる。お互いに出して誰でもある程度、パスワードを見ればわかる。ということをしめていただきたいというのが、今回、来ているユーザーです。今、「こうしなさい」とするのではなく、検討していただければと思います。要するに、共通のネットでできると。その行司役を区のほうでとっていただきたいと思います。要望ですけども、ご検討ください。</p> |
| <p>学校整備課長</p> | <p>いろいろなご意見をいただきましたが、この懇談会、いろいろな団体の方、地域の方、運営協議会、学校支援本部、PTA、同窓会、お父さんの会も含めて、団体にお見えいただいたのは、実はいろいろな人の意見を聞きながらこの杉二小をいい学校にしていきたいというのが趣旨です。</p> <p>ほかの区によっては、全くこういうのを設けずに、教育委員会とか区のほうで決めて、決まったことをお知らせするというだけでやっている区もいまだにあります。どちらがいい悪いはないのですが、杉並区ではこういうスタイルをとって、より多くの人々の意見を聞きたいと。</p> <p>ただし、本当にもっと大きな体育館で、「では自由に」意見をというのと、本当に收拾がつかないことがあるので、申しわけないのですが、今お出でいただいたのはあくまでも代表、各団体を代表してお見えいただいているので、各団体、協議会なり支援本部なりPTAなり、お父さんの会でもいいのですが、そこで</p> |

| | |
|--------------|--|
| | <p>出たのを集約していただいたものをこの場でぜひ発表、資料で今回出てきたものもありますが、こういう形でも構わないので言っていただいて。</p> |
| 委員 | <p>お言葉を返すようですが、それを否定している。せっかくでしたら、そうして、代弁であっても、もちろん議会制民主主義というのはこういう方式でやっているわけですが、せっかくでしたら、ネットというのは誰でもいつでも見られる。それを、こういう意見を聞きましたよということを整理して、ここでディスカッションするとか、そういうふうにしていただいたら、ネットを使って。ネットで答えておしまいということではなくて、それをときどき、定期的に乗集まって、こういう会話がありましたねということをしていただけないなということ要望しているのです。それを否定しているわけでは全くありません。すばらしいことだと思います。</p> |
| 学校整備課長 | <p>今、区全体としては、当然いろいろな方法で、電話なりお手紙なり、今はインターネットでメールでも意見をいただいて、これは全然拒否するものでも何でもないですし、普通に、こういう場に出ていない人が何か意見を言いたい。団体を通じて意見を言うのもあるけれども、個人的に出したいという方、全然今、オープンにしていますので、そういうふうな形で、例えば「杉二小の改築について自分はこう思う」とメールが来れば、場合によってはこういう場で、「こんな意見も実はメールでいただいていますよ」というご案内はできるのかなと思いますので。それでお考えいただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>なんだかごまかされているみたいですね（笑）。</p> <p>私が言った趣旨はおわかりだと思います。要するに、議会制民主主義というのは開示だからいいということではないと思います。今、ネットをものすごく簡単に使えますから、それを活用しない手はないと思うのですよ。時々こうやって集まって、フェイスツーフェイスでこういう形でやるということです。</p> <p>だから、選ばれた設計事務所をいじめるとかではなくて、本当に信頼関係ができると思いますよ。</p> |
| 進行役 | <p>ありがとうございます。</p> <p>埋蔵文化財のところで、ぜひとも子どもたちがかわれるようなところがありますが、何かそのあたりでの説明等ありますでしょうか。</p> |
| 教育施設計画推進担当係長 | <p>そこについては研究させていただきたいと思います。</p> |
| 学校整備課長 | <p>ご存じのとおり、川沿いですので、当然、川があるところには昔から人が住んで、遺跡、土器だとかの類が非常に多く出るだろうと予想はしています。こういったものが出るかはわかりませんが、掘ってみてどういう形になるか。種が出たと私もよくニュースで見るときに、太古の壺に入った種が見つかったと、そういうのがあれば、そういったものが非常に貴重なものになって、それを使った子どもたちがまたそういったものを知る機会をつくるとか、いろいろな形があると思います。</p> <p>いずれにしても、埋蔵文化財の調査はまた別途行っていきますので、その結</p> |

| | |
|----------|---|
| | 果でまた懇談会の皆様にはそういった情報も提供していきたいと思っています。 |
| 進行役 | そのほか、何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか、それでは、事務局のほうから、連絡事項をお願いいたします。 |
| | (連絡事項) |
| 進行役 | ありがとうございました。 それでは最後に、閉会に当たり、学校整備担当部長の中村部長よりご挨拶をお願いいたします。 |
| 学校整備担当部長 | <p>長時間にわたり、皆さん、本当にありがとうございました。</p> <p>私どもの教育長は全国的に大変有名な人で、日本全国、いろいろと講演しております。まさにきょうは、本当に成田の皆様のお熱い思いを聞いて、教育長の「いいまちはいい学校をつくる。学校づくりはまちづくり」という言葉を思い出しました。これは必ずいい学校ができるなという確信を、今、少し持っているところです。</p> <p>ただ、さまざまな課題があることは確かなので、それは皆さんと一緒に、いろいろな解決策がありますから、知恵を絞って解決させてきたいと思っています。</p> <p>それから、最後のほうでは情報公開と意見をどういうふうに聞くのかというお話もありました。十分な情報公開というのは当然、今はこういう形で進んでいるようだとか、こういふふうに決まりそうだとか、今こういう案が出ているとか、そういったことをしっかりオープンにしていくということが大変重要で、先ほど1つの例として桃二小の、きょうは白黒で大変恐縮なのですが、ニュースの話がありました。</p> <p>同じようなものが富士見丘小学校のほうでも、きのう富士見ヶ丘のエリアに配りました。富士見ヶ丘は今、実際に設計事業者も決まって、設計事業者が大体こういう学校でどうでしょうかというような絵を描いてきております。それまでに1年間、富士見ヶ丘の皆さんといろいろな話をして、こういう学校にしよう、ああいう学校にしようという熱い議論をやって、富士見丘の場合にはその後設計業者を決めました。恐らく区長への声に意見が来ます。こういったものを踏まえて、また次に生かしていこうと、そういったチャンネルはもちろんほかの学校でもやっていますので、情報公開は皆さんにもお約束ができます。それで初めていい学校ができると思っています。これから本当に、私自身も楽しみになってきたなと思っています。本当にきょうは長時間にわたり、ありがとうございました。</p> |
| 進行役 | それでは、これで閉会といたします。ありがとうございました。 |